1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

THI IN THE PROPERTY OF THE PRO				
事業所番号	4075500613			
法人名 (有) もみじ				
事業所名	グループホームもみじの里			
所在地	福岡県宮若市上大隈675-1			
	(電話) 0949-33-1639			

100000000000000000000000000000000000000	評価機関名	ち 特定非営利活動法人 ヘルスアンドライツサポート うりずん							
000000000000000000000000000000000000000	所在地	直方	市知言	古1丁	1目6	番地	48号		
	訪問調査日	平成 19	年	10	月	27	日	評価確定日	平成19年11月15日

【情報提供項目より】(19年 10 月 10 日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和	(平成	t) 17	年 5	月	1 目						
ユニット数		1	コ	ニット		利用定	員数詢	+	9 .	人		
職員数	8	人	常勤	3	人,	非常勤	5	人,	常勤換算	4	人	

(2)建物概要

建物構造	平屋木造	造り	
建物 悟坦	1 階建ての	1 階 ~	階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,	000 円	その他	」の経費(月額)	10,000	円
敷金		(無)				
保証金の有無(八店一吋金百	(無)			の場合 の有無		(無)
	朝食	200	円	昼食	350	円
食材料費	夕食	450	円	おやつ	160	円
	または1	日当たり		円		_

(4)利用者の概要(10月10日現在)

登録人数	9	名	男性	0	名	女性	9	名
要介護1	2			要分	介護2	4		
要介護3	2			要分	介護4	0		
要介護5	1			要是	支援2	0		
年齢 平均	87.6 苈	轰	最低	78	歳	最高	98	歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名 安部内科 塩川歯科 宮田病院 菅井眼科 千々和耳鼻科

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「もみじの里」は旧産炭地の新興住宅地にある木造平屋建ての1ユニットのグループホームである。開所時より自治会に加入しているので、日ごろから近隣と交流があり、ホーム名称の「もみじ」が枯れた時は地域の方に15本の苗木を植樹していただいたり、加入した老人会からお誘いを受けた運動会では場所取りやテント張り、出場種目等に地域の方々の理解や協力を得ている。施設長はこのような地域との交流をさらに促進したいとの思いから、ホームで高齢者相談を受けたいと市担当者に相談している。今年、開設3年目であるが、ホーム理念に地域密着型サービスとして「私達スタッフは地域の方との交流に従事します」を追加している。入居者の生活ぶりをもみじの1年誌として「もみじ微笑み日記」を作成しているが今年は製版し家族へ配付して大変喜ばれた。管理者をはじめ全職員が自信を持ってホームの運営に関わっている姿勢が伺える。

【重点項目への取り組み状況】

	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
重点項目①	前回の外部評価結果から、東京センター方式のアセスメントシート等で全入居者の心身の状況の変化等をアセスメントし、介護計画を3カ月毎に見直している。認知症の診断書の整備や定期的な健康診断を行っている。重要事項説明書に相談苦情窓口を明記し共用空間に掲示している。金銭出納帳を整備し、領収書で家族が出納を確認している。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が外部評価の意義を理解し、自己評価を全職員で取り組んでいる。
	運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
重点項目②	運営推進会議は適正なメンバーで隔月に開催されて、ホーム運営や行事報告・当日の意見など詳細な議事録を整備している。推進員のメンバーに、日頃からホームに対するアドバイスを頂き大いに運営等の参考にしている。また、地域との関わりが出来ているので、ホームを近隣のお年寄りの相談所として活用したいと行政に相談している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
重点項目3	1/3の家族が月2回程訪問しているので、その際に近況等を報告したり、年4回個別に手紙で行事報告や近況を知らせている。定期健康診断は3カ月毎に実施し、検査データをファイルし、異常がある場合は家族に報告している。管理者は職員は地域福祉権利擁護や成年後見制度の研修に参加し、家族に制度等を説明している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	自治会に加入し、原町11組として区の行事に参加している。老人会にも加入、地域の運動会では、地域の方々に敷物からテントまで準備していただいたり、入居者が出場しやすい種目を検討していただくなど、地域の理解や協力がある。ホームの夏祭りにも地域の方が多数ボランティアで参加し、協力していただいている。

2. 評価報告書

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理	念に	基づく運営			
1.	理念と	:共有			
1		○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えて いくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあ げている	運営理念に今回の法改正の「地域との交流」を追加している。開所時より自治会に加入し、日頃より近隣の方々とのお付き合いを大切にして、地域との関わりに取り組んでいる。		運営理念・重要事項説明書などは見易い字体で見易い位置に 設置を願いしたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向 けて日々取り組んでいる	毎日タイムカードを押す時に、理念を読み業務に就くようにしている。職員採用時の研修に理念の理解を位置づけたり、毎月の会議で介護方針や理念について話し合っている。理念は実践の中に取り入れられている。		
2. ±	也域と	 の支えあい			
3	'	事業所は孤立することなく地域の一員として、自	自治会に加入し、原町11組として区の行事に参加している。老人会にも加入し地域の運動会では、地域の方々に敷物からテントまで準備していただいたり、入居者が出場しやすい種目を検討していただくなど、地域の理解や協力がある。また、ホームの夏祭りにも地域の方が多数ボランティアで参加し、協力していただいている。		
3. 3	理念を	実践するための制度の理解と活用			
4	'	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が外部評価の意義を理解し、自己評価を全職員で取り組んでいる。前回の外部評価結果から改善計画シートを作成し、改善に取り組んでいる。		
5	8	〇運営推進会議を活かした取り組み 8	運営推進会議は適正なメンバーで隔月に開催され、ホーム 運営や行事の報告、当日の意見など詳細な議事録を整備 している。推進員のメンバーに日頃からホームに対するアド バイスを頂き大いに運営等の参考にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外に も行き来する機会をつくり、市町村とともにサービ スの質の向上に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の結果を宮若市の介護保険課に届けている。行政に、地域との関わりが出来ているので、ホームを近隣のお年寄りの相談所として活用したいと提案をしたが、行政からはホームの仕事ではないと指摘されている。行政から研修等の依頼はない。		今後は行政と相談しながら、地域の方の介護予防等に貢献でき るように取り組みを期待したい。
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者と職員は、地域権利擁護事業や成年後見 制度について学ぶ機会をもち、個々の必要性を関 係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できる ように取り組んでいる。	管理者や職員は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度 の研修に参加し、入居者及び家族に説明している。		成年後見制度等のパンフレットや資料を整備するとともに、入居 者・家族に説明した記録を整備していただきたい。
4. Đ	里念を	実践するための体制			
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭 管理、職員の異動等について、家族等に定期的 及び個々にあわせた報告をしている	入居者の近況等は、1/3の家族が月2回程訪問しているので、その際に報告したり、年4回個別に手紙で行事報告や近況を知らせている。定期健康診断は3カ月毎に実施し、検査データをファイルし、変化がある場合は家族に報告している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員なら びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に 反映させている	家族の意見は日頃より訪問時や電話報告時に伺っている。 重要事項説明書に意見・苦情窓口を明記し、玄関にご意 見箱を設置している。家族が運営推進会議に参加できない 場合は、会議内容を報告し、意見を伺っている。預かり金は 出納帳を整備し、領収書で家族が出納を確認している。	\cup	家族同士の集まりの場として家族会を発足し、さらに家族が意見を出せる機会を設けていただたい。
10	18	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、 異動や離職を必要最	離職の多い職種なので、会議では全職員が意見を出し易いように事前に議題を配布したり、研修も勤務の中で参加できるようにし、働き易い職場作りに努め、離職を防止している。また、年1回入居者と共に旅行に参加し楽しめるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)			
5. ,	人材の育成と支援							
11	19	たっては性別や年齢を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会	年齢や経験にとらわれることなく、専門職としての老人介護に適している人材を採用している。職員の能力を発揮してもらうために、研修や会議に積極的に参加できる機会を設けている。服務規程等の契約書も整備され、休憩時間には買い物や事務所で過ごしたりしている。					
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を 尊重するために、職員に対する人権教育・啓発 活動に取り組んでいる。	人権研修に参加し、行政からのパンフレットも掲示している。運営規程に身体拘束をしないと明記しているが、身体 拘束や虐待防止マニュアルがない。	0	身体拘束防止・高齢者虐待防止マニュアルの作成が望まれる。			
13	21	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを	加入している福岡県グループホーム協議会Fブロックの研修会に参加したり、ホームの年間研修計画に沿って勉強会等に参加しているが、業務内で参加できるように配慮をしている。 伝達講習も実施している。 スーパーバイザーはいないが、職員の悩み等は管理者や同僚が対応している。					
14		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流 する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させ	地域にグループホームを広く知ってもらう為に、地域の同業者と共同で福祉祭りに参加し、ホットドッグや綿菓子を販売したり、パネルディスカションを行っている。また、地域のグループホーム間の勉強会などにも参加し、サービスの向上に取り組んでいる。					

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(0印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)			
П.5	Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
1. 木	泪談か	ら利用に至るまでの関係づくりとその対応						
		○馴染みながらのサービス利用						
15	28	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居当初は、本人や家族と蜜に話し合うことで,本人の生活状況を見極め馴染んでいただくようにしている。ここ一年新規の入居者がいない。					
2. 茅	新たな	関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
		〇本人と共に過ごし支えあう関係						
16	29	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から 学んだり、支えあう関係を築いている	昔の生活ぶりや貝島炭鉱があった時代の話、宮若市の歴史・戦争の話や現在の家事・園芸等を通じて生活の知恵を 入居者に教えて頂きながら、和やかな暮らしをしている。					
Ш.	その.	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント					
1	-人ひ	とりの把握						
		○思いや意向の把握						
17	35	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	日頃の関わりの中で,入居者の希望や意向を聞き取るよう にしている。東京センター方式のアセスメントシートを活用し ている。	0	アセスメントした情報に基づく個別ケアを介護計画書3表の週間 計画表に記載し、具体的な支援をお願いしたい。			
2. 7	本人が	より良く暮らし続けるための介護計画の作成	と見直し					
		〇チームでつくる利用者本位の介護計画	すぎしいた。 七十のフレッハル、 しがとえが、 人类引電		モニタリングや職員の気づいた点を介護計画に反映させ、個別			
18	38	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	東京センター方式のアセスメントシートがあるが、介護計画の1表、2表に活かされていない。 夜勤帯での気づきを職員はノートに記入しているが、介護計画には活かされていない。	0	性のある計画の作成をお願いしたい。介護計画2表の長期・短期の目標やサービス提供期間を具体的に明記していただきたい。 また、介護計画を本人や家族に説明し、同意を得ていただきたい。			
		〇現状に即した介護計画の見直し						
19	39	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に東京センター方式のアセスメントシート等を書き換え、介護計画を見直したり,入居者の状況に応じて随時職員会議を開き、家族の意向に沿って計画を作成しているが、介護計画を家族が了承した署名等がない。	0	介護計画2表と連動した経過記録が求められる。経過記録はモニタリング・担当者会議、次の計画に活かして頂きたい。了承を得た介護計画は入居者や家族の署名若しくは記名捺印をお願いしたい。			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(0印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)			
3. 🕯	3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)							
20		○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望する医療機関への通院介助、買い物、独居者の家の 手入れや草取りは自主サービスで支援している。					
4. 7	本人が	ぶり良く暮らし続けるための地域支援との協作	動					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられるように支援している	希望するかかりつけ医受診の支援や協力医療機関の月2 回往診で健康管理をしている。受診時の情報は申し送り 帳・受診簿に記載し、職員に周知したり、家族へ電話などで 報告している。薬は看護師が管理している。	0	受診結果は家族に電話や来訪時に報告しているので、記録の整備をお願いしたい。			
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化した入居者の受診状況等は介護日誌に記載している。終末期までの支援をホームの基本としているが、今のところ対象者が居ない。	0	重度化や終末期に向けた指針を作成し、入居者や家族に説明し同意を得ていただきたい。また、入居当初から変化ある毎に家族と話し合い、より良い過ごし方を関係者一同で協議していただきたい。			
IV.	その.	人らしい暮らしを続けるための日々の支持	夏					
1. 4	その人	らしい暮らしの支援						
(1)	一人に	♪とりの尊重						
23		○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議などで、入居者への声掛けや接し方について話し合っている。個人情報や個人記録の取り扱いは充分配慮しているが、個人情報の利用目的などを記した書面を整備していない。		個人情報の保護に関する研修の実施や個人情報の利用目的を 明確にした書面を作成し、入居者や家族に説明するとともに共用 空間に掲示することが求められる。			
24	54	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	今日をどのように過ごしたいか等の希望などを聞くようにしているが、ボランティア行事や入浴時で職員が少ない時は事情を説明し、協力をお願いすることもある。					

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(0印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)				
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援									
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	食材サンチョククラブに各自の嗜好を伝え、食事を楽しめるようにレパートリーを多くしている。配膳や片付け等の分担は自然に出来ており、トラブルもなく和気藹々としている。職員も伴食しながら、各入居者のペースにあわせて支援したり会話を楽しんでいる。						
26		○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を 楽しめるように支援している	入浴は午後からであるが、物盗られ等の妄想などで入浴を 拒否する場合は、心配な物を風呂に持ち込み見せながら 入浴を行っている。また、体調に合わせてシャワー浴や清 拭等を行っている。						
(3)	(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
27			外出の好きな人には外に出る機会を作り、又台所で何かをするのが好きな人には積極的に手伝ってもらったりしている。家庭菜園づくり,洗濯物の取り込みたたみ分け、買い物担当や犬のお世話などその日の天候や入居者の体調に配慮しながら、役割や楽しみごとを支援している。						
28		〇日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその 日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援 している	年間行事計画を話し合い、年に1回は宿泊旅行(今年は原鶴温泉に出かける予定)をしている。天気が良い時は、近くの散歩やドライブ、買い物等に出掛けている。菊花展や外食等、利用者の要望に応じて遠出をすることもあり、できるだけ家族との外出も支援している。						
(4)	安心と	:安全を支える支援							
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵 をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけない ケアに取り組んでいる	夜間帯を除いて玄関の施錠はせず、チャイムを取り付け、常に職員は出入りに注意している。それでも入居者が無断で出かけた時は、日頃から近隣の温かい見守りがあり、連絡を受け迎えに行った事がある。						
30		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより 地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣組に加入しているので近隣の方々との交流もあり、非常 災害時は、携帯電話で協力をお願いができる方もいる。消 防署の協力で避難訓練はしているが、避難や防火訓練の マニュアルを整備していない。	0	非常災害・避難訓練のマニュアルの作成が求められる。また、災 害時用の備蓄の検討もお願いしたい。				

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)				
(5)	(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
31	79	度へる重や栄養ハランス、水分重が一日を通して 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 ばま 大塚 たしている	食材サンチョククラブに栄養バランスやカロリーに配慮し、 低農薬食材を使用した調理法を依頼している。入居者の状況に応じて減塩食や糖尿食などを提供している。毎食毎の 食事量・水分量のチェックや毎月2回の体重測定で、体調 の変化に早期に対応できるようにしている。						
2. 7	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1)	(1)居心地のよい環境づくり								
32	83	天用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食室、浴	玄関やホールには季節の花が飾られ、家庭的な雰囲気である。テレビの音量や生活音も適切で、廊下やホールの採光も配慮している。入居者が好きというスイカズラのアロマセラピーで気分転換をしている。共用空間のソファーや椅子・テーブルは、安全性を重視し動き易いように配置されている。						
33		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい	居室には以前から使い慣れた箪笥やテレビ仏壇・写真等の必要な物を持ち込み、馴染みの品や自分で描いた絵や写真を飾り、居心地のよい居室である。 ベッドやマットのみ利用している入居者もおり、その方の状況に合わせた居室である。						